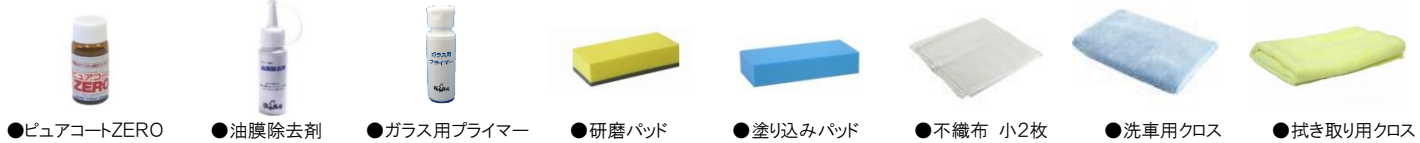


【施工時の注意点】

- 内窓・特殊なプラスチック製の窓・フィルム貼りや着色・コーティングなどの処理・物理的な加工を表面に施したガラスには使用できません。
- 汚れや異物がついた不織布やクロスは使用しないでください。すべての液剤は、塗ったまま長時間放置しないでください。
- ピュアコートZERO(撥水剤)は、開封後15分を目処に使い切ってください。保管はできません。また未開封でも、使用期限内にご使用ください。
- 雨天時や湿度が高い時、冬季の作業時には暖房やデフロスターでガラスを温めながら作業してください(結露予防)。施工後は12時間以上濡れない場所で保管してください。長時間の保管が困難な場合は、デフロスターやドライヤー等を使用し1時間乾燥させ、その後1時間自然乾燥して下さい。(合計2時間)
- 下地処理を充分に行わずに撥水加工した場合や撥水剤に水分が混入した場合、施工後十分な乾燥ができていない場合は本来の性能が発揮されません。
- ③は水で洗い流す方法がベストですが、絞りタオルで液剤をきれいに拭き取っていただいても大丈夫です。

【準備するもの】 ※ ピュアコートZERO(撥水剤)は、1本で普通車のフロントガラス1枚分です。



【施工方法】 ※ 施工するガラス表面の砂や泥等の汚れを、きれいに洗い流してから作業して下さい。



1. 施工する車の状況により、事前にマスキング作業を行って下さい。
ガラス表面を霧吹き等で軽く濡らします。
研磨パッド(黒い面)に油膜除去剤を適量付けます。



2. ガラスを磨きます。油膜が除去できている(ガラス面が液で弾かなくなる)事を確認しながら磨いて下さい。液の伸びが悪くなったら適時保水して下さい。油膜除去剤では落ちないウロコ(水垢)汚れは、「ウロコ落としZEROハード」(別売)を使用して磨いてください。



3. 液剤が残らないよう水でよく濯ぎ、洗車用クロスで水分を完全に拭き取って下さい。

撥水剤は水分混入厳禁です。窓枠に溜まった水分が完全にきれいになるまで時間をあけるか、エアブローを使用して完全に水分を飛ばしてください。



4. 塗り込みパッドに、半分に折った不織布を1枚巻き付けます。プライマーを適量付け、ガラスにまんべんなく塗り込みます。

ガラス表面が十分に乾燥してから⑤に進む。



5. 塗り込みパッドに新しい不織布を巻き付け、ピュアコートZERO(撥水剤)を1/4量付けます。

撥水剤は空気に触れると劣化が進むため、使用後はその都度中栓をしてください。



6. ガラス半面を縦方向にまんべんなく塗り、次に横方向に塗り伸ばし、再度縦方向に塗り伸ばします。撥水剤を同量付け、もう半面も同様に塗り込み



7. 夏場は5分、冬場は15分程乾燥させます。乾燥したら、拭き取り用クロスで余剰成分を拭きあげます。

乾燥時間中、撥水剤は中栓をしておいてください。



8. 残りの撥水剤を、工程6と同様に半面ずつ塗り込みます。

撥水剤は、開封後15分以内に使い切ってください。保管はできません。



9. 乾燥したら、拭き取り用クロスで拭きあげます。運転席から拭き残しがないことを確認して下さい。視界が悪ければ、再度拭き上げて下さい。

施工後は12時間以上水に濡らさないで下さい。